



2013年認定

世界農業遺産認定地域紹介



## 静岡の茶草場農法

静岡県掛川周辺地域

### 高品質な茶の生産と生物多様性の両立

掛川周辺地域では、県の特産品であるお茶の栽培を「茶草場農法」と呼ばれる独自の伝統農法で行っています。茶畑の周りに点在する草地（茶草場）からススキなどの草を刈り取って、秋から冬にかけて茶畑に敷く農法で、この農法で作られたお茶は味が良いことで高い評価を得てきました。茶草は茶畑の土壌を豊かにし、土壌流出を防ぐ等の効果から地域の茶栽培に欠かせないものであるとともに、豊穰祈願のお供えとして地域の伝統文化の中にも利用されています。

また、茶草を刈り取ることで維持されてきた草地には希少な生物が数多く生息しており、伝統農法を守るための農家の取組が生物多様性を育んでいます。



畝間に茶草を敷く作業



茶畑に隣接する茶草場



【カケガワフキバタ】  
茶草場に生息するカケガワフキバタは、翅が退化して飛翔することができない地域固有のバッタです。

